

# とつきよう 自治体の仲間

2025.3.17  
VOL. 418

発行所  
東京自治体労働組合総連合  
〒170-0005  
豊島区南大塚2-33-10東京労働会館4階  
TEL 03-5940-7951 FAX 03-5940-7957  
発行人 矢吹 義則  
定価100円  
(ただし組合員の購読料は組合員に含まれています。一人に1部配布)  
本誌は再生紙(古紙75%以上)を使用しています

http://www.tokyo-jichiroren.org/ E-mail honbu@tokyo-jichiroren.org



岩手自治労連の吉田委員長に義援金を手交しました

まもなく、年度末を迎えます。年度末は、退職・異動なく、私生活が大きな変化する時期でもあります。退職される方は、長い間、組合活動にご協力いただき本当に感謝申し上げます。また、職場が変わられる方も、新年度にむけた準備も

滞りなく進めていかねばならず、忙しい毎日を送っているのではないのでしょうか。新年度からは、新入職員も職場に配属されます。公務労働の魅力を感じ、希望に胸を膨らませての第一歩だと思います。今年、例年になく多くの職員採用があるといわれています。多くの職場で組合加入の働きかけをお願いします。

## 災害対応で奮闘する自治体職員

昨年発生した、能登地震災害対応で奮闘する自治体職員。避難所の設置・運営や住民対応に従事しています。日々を追うことに体力的・精神的な疲労が蓄積されています。

羽田航空機事故など、公共の役割がますます重要視されています。2月末に岩手県大船渡市で発生した山の誇りを胸に刻みながら頑張っています。大規模災害が起るたびに、脆弱な自治体の人員体制が問題視されますが、改善されていきます。そこが、自治体職場における長時間・過重労働は無いように、労働組合が職場の切実な声をあげる時です。新年度にむけ、安心して働き続けられる職場をめざしましょう。

## 新たな旅立ちとなるみなさんへ

東京自治労連中央執行委員長 矢吹義則

## 哲学対話セッションを開催・板橋区職労

# 「働くことって何?」「手のひらサイズ」の問いをめぐる対話



それぞれの意見を聞く参加者

板橋区職労は2月7日、青年部による哲学対話セッションを開催しました。講師には、TBSラジオなど様々なメディアで活躍する哲学研究者の永井玲衣さんを迎え、組合員や未加入者を含めた対話の場を設けました。

「働くこと」の根本的な問いが次々と。当日は、鳥のぬいぐるみを持った人が発言する、話を遮らない、沈黙を許すといったルールを大切にしながら、終始穏やかに話しやすい雰囲気の中で進めました。

対話を通じて、相手を知らずして、こつた対話の中で、永井さんは哲学対話の特徴について問いを通して、その人の関心や親しみがあることを深めていきました。「なぜ働かなければならないのか」「生働くことが前提とされるのはなぜか」「目

の現場で働く人々が一堂に会し、それぞれの視点から意見を交わすことで、特定の職種や役割に対する固定観念が崩れていきました。対話を通じて、相手とのようなことを考えながら働き、生きているのかを知ることで、単なる職場の関係を超えたいつながりが生まれます。

働くことの意味を問い直し、日々の労働に対する新たな視点を得る貴重な機会となった今回のセッション。哲学対話のもたらす気づきや驚きが、これからも多くの人に広がっていくことを期待しています。

## 25国民春闘を学ぶ

### 春闘バスツアー 文京区職労



美味しい屋食で笑顔満開

文京区職労は9月9日、房総方面へ「春闘バスツアー」に行きました。国民春闘に対する理解を深め、機運を高めることで賃上げを勝ち取ることも、楽しい時間を共有することで労働組合としての結束力を高める目的です。

民間と共に春闘を闘う意義を学ぶ。行きのおバスの中では、文京区職員労働組の元執行委員長の大谷昇さんが「なぜ自治体労働者が春闘を民間企業と共にたたかうのか」「なぜ昨年の春闘で大手企業で賞金が上がったか」といわれて、給料表の上位にいる者頭を使った後に甘いもの

楽しみながら学ぶ大満足の一日。最初の目的地「はちみつ」に到着しました。ミッドの賞金は、はちみつのお酒のことです。今後は組合員と共に楽しみつつ学べる企画を充実していきます。

をたっぶり補給しました。次に「マザー牧場」に到着しました。名物のジンギスカンがなんと、食・ベ・放・題「羊肉がちょっと」と言う方のために牛・豚肉や野菜もたっぶりあり、みんな大満足のお昼ご飯でした。自由行動でそれぞれ可愛い動物たちと触れ合い、美しい菜の花を愛で、目と心の栄養をたっぶり補給しました。

その後、「小泉酒造」に立ち寄り、最後はアクアラインの「海ほたるPA」で家族や友人や自分へのお土産の補給をし、ほぼ予定通りに事故もなく文京区ピックセンターに戻ってきました。頭にも心にも身体にも栄養をたっぶり補給し、大満足の一日でした。今後は組合員と共に楽しみつつ学べる企画を充実していきます。

先日、「松代象山地下壕」を見学してきた。現在、見学できるのは、大本営予定地の象山地下壕の内500mの区間だけですが、中に入って、なぜこんな地下壕が掘られたのか疑問がわき、調べても驚かされた。この計画の前提となったのは「本土決戦」作戦です。戦況が悪化する中、連合軍の本土上陸を想定して、天皇と大本営をこの地に移し「本土決戦」に備えることが秘密裏に計画された。1944年11月11日から始まり延べ10キロに及ぶ地下壕が作られた。天皇と大本営を松代に移転すると共に政府は「億玉砕」の掛け声の下に本土決戦のために「根こそぎ動員」を行い、急遽150万人の兵士を組織し、女性も義勇兵として戦闘に参加する体制をつくった。本土決戦という地上戦が行われたら、少なくとも見積もっても200万〜300万人の犠牲者を生んだと指摘されています。連合国の降伏勧告を無視し政府・軍部は本土決戦を準備していた。本当に恐ろしい限りで、松代地下壕は、「国体護持」のための本土決戦という「狂気」が生み出した戦争遺跡です。

## 野風俗

代象山地下壕を見学してきた。現在、見学できるのは、大本営予定地の象山地下壕の内500mの区間だけですが、中に入って、なぜこんな地下壕が掘られたのか疑問がわき、調べても驚かされた。この計画の前提となったのは「本土決戦」作戦です。戦況が悪化する中、連合軍の本土上陸を想定して、天皇と大本営をこの地に移し「本土決戦」に備えることが秘密裏に計画された。1944年11月11日から始まり延べ10キロに及ぶ地下壕が作られた。天皇と大本営を松代に移転すると共に政府は「億玉砕」の掛け声の下に本土決戦のために「根こそぎ動員」を行い、急遽150万人の兵士を組織し、女性も義勇兵として戦闘に参加する体制をつくった。本土決戦という地上戦が行われたら、少なくとも見積もっても200万〜300万人の犠牲者を生んだと指摘されています。連合国の降伏勧告を無視し政府・軍部は本土決戦を準備していた。本当に恐ろしい限りで、松代地下壕は、「国体護持」のための本土決戦という「狂気」が生み出した戦争遺跡です。

# 現場はとまどい

## 「子ども誰でも通園制度」

全国的に起こっている保育士不足や人手不足の中、国が主導で進める「子ども誰でも通園制度」とは、どのような制度なのでしょう。

### 子ども誰でも通園制度ってなに？

「子ども誰でも通園制度」とは、「就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付」制度のことです。国が設定を決定し、2025年度に制度化され、2026年度に全国の自治体で実施するものです。

### なぜ、保育現場で話題に？

「事業」ではなく「給付」の保育が示されています。

国が示す年齢の子どもが突然保護者から離れたら泣き続けることは必至です。その子を通常の保育中の子と一緒に入れたら、通常保育中の子どもも保育士が欠員が出ている状況で配置出来るのでし

「子ども誰でも通園制度」と重なる東京都の制度の実施状況などについて懇談しました。実施自治体の責任だけでなく、東京都が「チルドレンファースト」を唱えるのであれば、都として制度への関与を求めることが重要です。今後とも対都要請等で明らかにしていきます。

また、受け入れにあたる事務は誰がするのかも明らかではない、など決めなければならぬことが山積しています。

だれもが安心できる制度構築を

保育部会は、24年12月に行った対都要請行動でも、都に要請書を渡す保育部会副部長の斉藤さん



## なかまの★声

企業にどれだけ波及できるかにかかっています。私たちの人事委員会報告に大きく影響する結果を期待します。

楽しかった分会旗開き  
分会の旗開きに参加しました。昨年から全組合員対象で豪華商品の当たる抽選会になりました。残念ながら好運の女神は振り向いてくれませんでした。後半は参加者全員が思い思いの力になるが、肝心なのは、中小

春闘は人動に大きく影響  
春闘が始まりました。官製春闘で相場が上り大企業からは景気の良い声が聞こえるが、肝心なのは、中小

### ハロスワールド(17) 1月20日出題

#### 正解〓オトシダマ

【応募総数】257通

【正解】正解者の中から、厳正な抽選の結果、次の30名の方々が当選されました。

景品の図書カード(500円)は、組合事務所へ送ります。

### \*トピックス\*



2月19日 都議会開会日行動  
元気にシュプレヒコールする  
青年部書記長の渡辺華来さん



2月22日 安全・安心の医療・介護制度の実現を「医療崩壊をくい止める」宣伝行動  
都庁法人と衛生局支部からの参加者



3月6日 25春闘勝利3・6自治労連中央集会  
全国の仲間と国会請願デモに参加

2025 年ハロスワールド

角解答図

ア	オ	ダ	イ	シ	ヨ	ウ	ハ	ブ
オ	バ	ク	ワ	ン	ク	ク	チ	ン
イ	ラ	ク	チ	ク	バ	ユ	キ	
ト	ツ	キ	ヨ	ミ	ト	ウ		
リ	オ	ウ	マ	ラ	ル	ゴ		
リ	ソ	ウ	ム	シ	ク	イ		
ヤ	エ	リ	ツ	シ	タ	ハ		
ブ	ン	シ	ユ	ウ	ポ	ー	カ	ル
ト	リ	ウ	チ	ポ	ウ	ネ		

答オトシダマ(御年玉)

自動車共済関東 15周年

春のキャンペーン

2月~5月末までに新規・増車いただいた方へ

2等 ジャム詰め合わせ 30名様

1等 見積もりはこちらから

見積もり特典 デジタルギフトプレゼント

茨城県産メロン 20名様

レンコンチップス

茨城のご当地グルメ プレゼント

組合員のための無料法律相談

日時 4月17日(木)13時~

場所 第一法律事務所(最寄り駅:茅場町駅)

担当 三澤麻衣子 弁護士

次回の先生はこちら!

東京自治労連の組合員はどなたでも無料(初回のみ)。東京自治労連の顧問弁護団の弁護士に相談できます。ご希望の方は下記までご連絡ください。

東京自治労連・法律相談係 Tel.03-5940-7951